



# 八松小だより

## 学校教育目標

「心豊かな人間性を養い、自ら学び  
自ら行動する子どもを育てる」  
合言葉「私ってすごい！みんなすごい  
やったぞ！できたぞ！の声がいっぱい！」



2025年（令和7年）9月号

## 失敗しても、やり直せる安心感の中で

校長 瀧谷 典子

先日、市教育委員会主催の教育文化講演会で、大阪市立大空小学校の初代校長を務められ、映画『みんなの学校』でも広く知られる木村泰子先生のお話を伺う機会をいただきました。実際の学校づくりの実践に裏付けられたお話は、どの言葉も力強く、二学期を迎える私たちに大きな示唆を与えてくれるものでした。木村先生は、まず「迷惑なんて子は一人もいない」「失敗しながらやり直しを繰り返すことが大事」という強いメッセージを投げかけてくださいました。子どもも大人も、失敗しても必ずやり直せる。その安心感があるからこそ、人は思い切って挑戦できるし、自分を成長させることができるのだと教えてくださいました。つい「失敗しないように」と先回りしがちですが、それは挑戦の芽を摘んでしまうことにもなりかねません。むしろ「失敗してもやり直せる」と保証してあげることが、子どもの成長にとって何よりも大切であるとあらためて感じました。

### 教職員の意識の変化

大空小学校では、従来の学級担任制を思い切ってやめ、低学年・中学年・高学年・支援・職員室といったチームを編成し、職員全員で子どもを育てる体制をとられたそうです。当初は「担任が一人で学級を見るべきだ」と考える職員も少なくありませんでした。私たちもまた、長年の慣習にとらわれて「担任が責任を持つのが当然」と考えてしまいがちです。けれども大空小学校では、その枠組みを変えてみることで、不登校の子どもが減り、教職員の休職がなくなるといった大きな変化が現れたのです。これは「子どもを一人で抱え込む」やり方ではなく、「みんなで知恵を出し合い、支え合う」仕組みのほうが、子どもにとっても教師にとっても幸せにつながることを物語っているように思います。職員の意識も「一人でなんとかしなければならぬ」という思い込みが和らぎ、「人の力を借り、みんなでチームになったほうが良い」という実感が生まれていったそうです。本校でも、学年の子どもを学年の職員全員で育てる意識を重点にして学校運営を進めています。一人の担任にすべてを背負わせるのではなく、学年全体で子どもを見守り、助け合う体制を築くことが、子どもたちの安心と成長につながると考えています。

### 保護者の意識の変化

もう一つ印象的だったのは、保護者の意識の変化についてのお話です。木村先生は「保護者が自分の子どものことだけを考えている限り、子どもは十分には育たない」と語られました。子どもは、家庭と学校と地域という広い環境の中で生きています。わが子だけに目を向けるのではなく、地域全体の子どもたちを「宝」として支える視点を持つことが、子どもたちの健やかな成長を保証するのです。大空小学校では、学校を核にして保護者や地域にその意識を広げるように働きかけました。その結果、多くの保護者が「学校のサポーター」として授業や行事に関わるようになり、地域の方々も積極的に学校に足を運ぶようになったそうです。保護者や地域の大人たちが子どもたちをともに支える文化が根づくことで、学校はより安心できる場となり、子どもたちは多様な価値観を受けとめながら大きく成長していきました。

本校でも、保護者や地域の方々に「学校に入って授業や行事などを支えていただくこと」を積極的にお願ひしてきました。すでに参加して下さっている方々の存在は、子どもにとっても大きな励みとなっています。これからも「わが子だけでなく、地域の子どもたち全体を育てる」という意識を、保護者の皆様に広げていけると願っています。

### 子どもに育んでほしい4つの力

木村先生が掲げられた、子どもたちに育んでほしい4つの力は次のとおりです。

- ・人を大切にする力
- ・自分の考えを持つ力
- ・表現する力
- ・チャレンジする力

これらは、学力を支える土台であると同時に、社会で生きていくために欠かせない力です。友達との関係の中で人を思いやること、自分の考えを言葉にして伝えること、失敗を恐れず挑戦すること。そうした日々の積み重ねが、子どもたちをたくましく育てていきます。

### 二学期に向けて

二学期の学校生活でも、私たちは「失敗しても大丈夫、やり直せる」という安心感を子どもたちに保障し、仲間とともに学び合い、支え合う環境をつくっていきたくと思います。学校を核にして、子どもを真ん中に据え、家庭・学校・地域が手を携えて子どもを育てていく。そのことが、子どもたちにとって何よりの安心となり、そして大きな成長へとつながっていくのだと思います。

## 9月の目標

### 2学期の目標

みんなでなかよくたすけあいましょう

### 生活目標

生活習慣を見直そう

### 保健目標

けがの手当てを知ろう

### 給食指導の目標

たべものの名前を知ろう



## 9月の予定



配付した八松小だよりの通りです

## 令和7年度 運動会のお知らせ

本年度の運動会を次のとおり実施いたします。子どもたちが力いっぱい演技や競技に取り組む姿を、どうぞ温かくご声援ください。

【日 時】 10月18日(土)

※雨天の場合は順延します。

### 【時 程】

5, 6年生登校 8:30      1～4年生登校 8:40

保護者受付開始 8:50      開会式 9:20

閉会式 13:35      下校予定 14:00

※当日はお弁当のご用意をお願いいたします。

### 【競技・演目】

- ・応援合戦
- ・各学年表現 (ダンスやリズムの演技など)
- ・徒競走… 1・3・5年生
- ・学年団体種目… 2・4・6年生
- ・選抜リレー (3年生以上)
- ・綱引き (リレーに出場しない児童)

### 【練習について】

運動会の練習開始… 9月22日(月)より

※9月から10月にかけては暑い日も続きます。運動会終了までの期間、水筒には水やお茶のほか、スポーツドリンクも可としています。学校でも体調管理に十分留意しますが、ご家庭でも睡眠・食事・水分補給など健康面でのご協力をお願いいたします。

### 【高学年の活躍について】

5, 6年生は、競技に参加するだけでなく、運営を支える系の活動にも取り組みます。準備や進行、片付けなどを分担するほか、応援団として会場を盛り上げる役割も果たします。高学年の子どもたちが責任を持って運営や応援に関わることで一層大きく成長していくことを期待しています。

### 【保護者の皆様へのお願い】

例年同様、安全のための見回り、受付、終了後の片付けなどについて、保護者の皆様にご協力をお願いしております。

子どもたちが一人ひとり輝き、仲間と力を合わせて成長する一日となるよう、教職員一同準備を進めてまいります。今年の運動会も、子ども・保護者・教職員が一つになってつくる、みんなの運動会にしていきましょう。ご協力よろしく申し上げます。

## 【10月の予定】



## 命を守る力を学んだ6年生 ライフセービング・着衣泳学習

7月15日(火)、6年生は今年度のプール学習の最終日に「ライフセービング・着衣泳」に挑戦しました。水辺での安全を守るために大切な知識と技術を、体験を通して学びました。講師は、片瀬西浜サーフライフセービングクラブの方々です。

洋服を着たまま入水するのは初めての子も多く、最初は少し緊張した様子もありましたが、背浮きのコツを教わり、顔を水面に出して落ち着いて浮けるようになりました。「ゴム製の上履きなどは浮きにくい一方で、運動靴は意外と浮きやすいので無理に脱がなくてもよいこと」や、「ペットボトルを胸に抱えると背浮きの姿勢が安定すること」など、命を守るための知恵を実際に体験してみて体で確かめました。家庭からご協力いただいたペットボトルを手に、真剣に背浮きに取り組み、上手にできました。

今回の学習は、6年生にとって「自分の命を自分で守る力」を身につける貴重な体験でした。夏休みは、海や川など水辺での活動が増える時期です。夏休み前に学ぶことには大きな意味があります。

海や川が比較的近い場所にある本校の子どもたちが、この経験を心に残し、これからも安心・安全に過ごしてくれることを願っています。小学校生活の集大成にふさわしい学びになりました。

ご家庭の温かいご協力に、心より感謝申し上げます。



## 2年生 給食室探検

7月17日(木)、2年生が給食室を探検しました。普段は入ることのできない給食調理場に入らせていただき、調理員さんや栄養教諭の方からお話を聞きながら、本物の調理道具に触れる体験をしました。

スープを作る大きな釜は5つあり、重い鍋を持ち上げなくても、大きなハンドルを回すと傾けられる仕組みになっています。実際に子どもたちもハンドルを回してみ、工夫された仕組みに驚いていました。

また、大きな揚げ物用のフライヤーでは、フェルトで作った餃子を実際の調理道具の網ですくう体験をしました。ご飯を炊く炊飯器は家庭用とはまったく違う大きさ、形です。食器を保管する器具庫や野菜等を切るスライサー、野菜を洗う下処理室、そして食器を洗う機械なども見せていただき、興味をもって観察していました。

子どもたちは、毎日安全で美味しい給食を作ってくださっている調理員さんの工夫や苦勞を知り、感謝の気持ちを強くしたようです。普段はなかなか接することの少ない調理員さんと直接ふれあえたことも、子どもたちにとって大切な経験になりました。

「料理人になりたい」という夢を持つ子どもが、「こんな大きな器具で、こうやって作るんだとわかってうれしかった」と感想を伝えてくれました。今回の探検は、給食室の工夫やありがたさを知るだけでなく、子どもたちの将来を考えるきっかけともなっていたのですね。キャリア教育の一場面でもありました。



## 7月18日(金)終業式

7月18日(金)、1学期の終業式を行いました。今回はテレビ放送で実施し、私からは子どもたちに、1学期のふり返りとして次のような話をしました。

1学期、子どもたち一人ひとりが見せてくれた、たくさんのすばらしい姿～困っている友達にそっと手を差し伸べる思いやり、苦手なことにもあきらめずに取り組む姿、仲間と力を合わせて活動する姿～先生たちは、そうした一つ一つをととても嬉しく、誇らしく思っていることを伝えました。

また、海や川の事故には「ちょっとだけなら…」という気持ちが一番危ないこと、夏休みにはぜひ地域の行事にも参加して、地域とのつながりを感じてほしいこと、そして、2学期に向けて「何か一つ、挑戦してみよう」という気持ちを持って過ごしてほしい、という願いも伝えました。

終業式では、5年生の代表児童4名が1学期を振り返って、スピーチをしました。

- ・八ヶ岳野外体験学習で、友達とカレー作りをしたこと。仲間と協力できた喜びを語った子
- ・クラブ活動が始まり、バスケットボールクラブで6年生と協力しながらルールを守って活動できたと話した子
- ・苦手な算数と向き合い努力したこと、2学期も苦手なことに挑戦したいという決意を語った子
- ・放送委員会として企画書を作成し、音量や放送内容に気を配って活動したことを話した子

どの子も、自分のことばで堂々と話す姿がとても立派でした。私は、スピーチを聞きながら「子どもたちは、日々の学校生活の中で人と関わり、努力をして成長している」とあらためて感じました。



## 校舎がさらに快適に！ 空調設備が整いました

夏休み中に、理科室・図書室（2階吹き抜け）・音楽室に新しく空調が設置されました。これからは四季を通じて快適に学習に取り組めるようになります。新学期から快適な環境での学校生活を迎えることができます。本当にありがたいことです。大切にに使わせていただきます。

さらに9月には、いよいよ体育館にもエアコンが設置される予定です。子どもたちが行事や体育の学習を安心して行える環境が整うのを、とても楽しみにしています。



## PTA 主催ラジオ体操 元気にスタート！

8月27日・28日・29日の3日間、PTA主催のラジオ体操が予定されていましたが、初日の27日は、熱中症警戒アラートが発表されたため中止となりましたが、28日と29日の2日間は朝8時から元気いっぱいに行うことができました。

ラジオ体操では、前に出て模範を示してくださった保護者の方、学年ごとに並ばせてくださった方、受付を担当してくださった方など、多くのボランティアの皆さまのご協力がありました。おかげで子どもたちは安心して参加することができました。ありがとうございました。

この活動は、9月1日から始まる学校の登校時刻に子どもたちがスムーズになじめるようにと、PTAの皆さまが企画してくださっています。兄弟姉妹の未就学のお子さんも一緒に参加し、地域の中で元気な朝を迎えることができました。

参加した子どもたちには、後日、参加賞が渡される予定です。子どもたちにとっても、夏休みの最後を締めくくる思い出になったことでしょう。

